

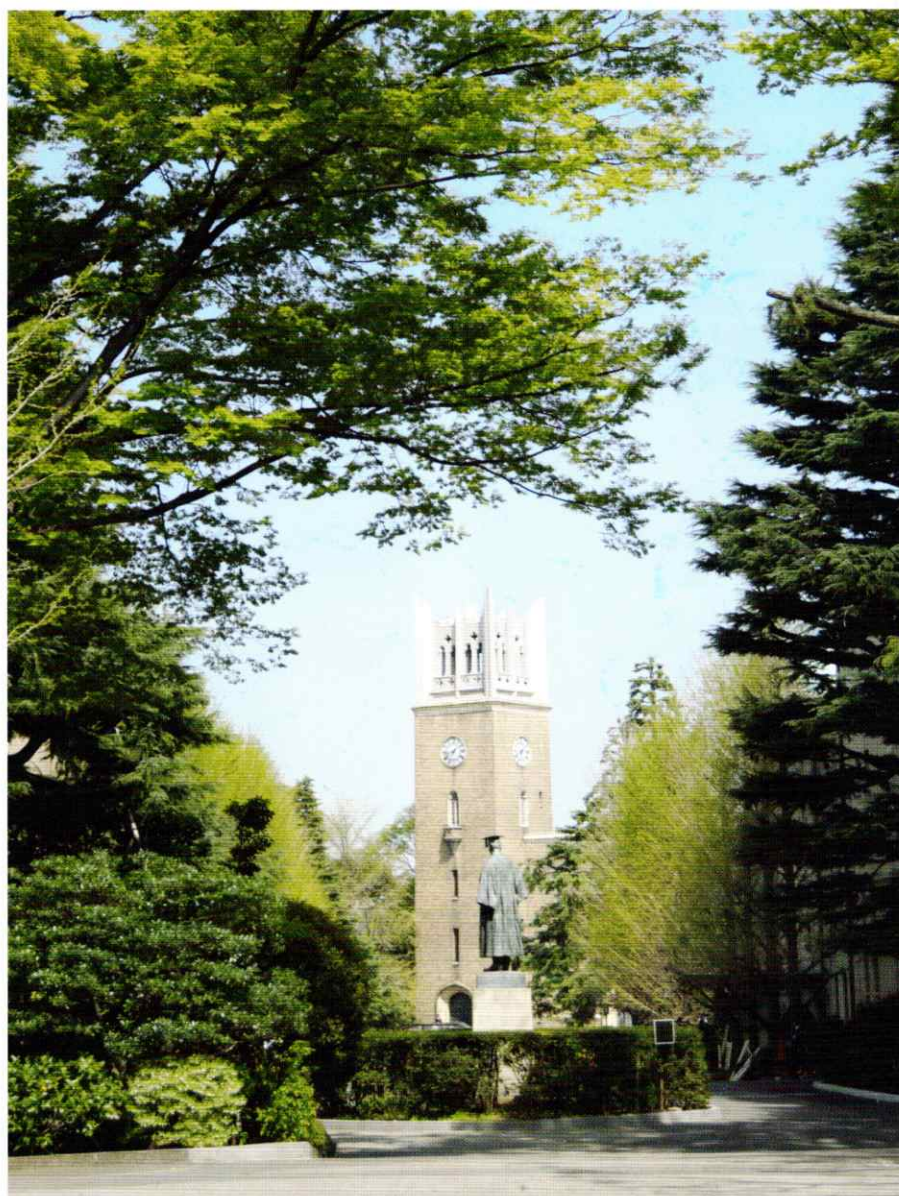
世田谷稲門会

15年のあゆみ

早稲田大学 世田谷稲門会

世田谷稲門会

15年のあゆみ





世田谷稲門会旗と第15回総会
土倉享一会長挨拶（平成18年5月）



東京都23区支部大会 白石克彦総長挨拶（平成18年3月）



125周年寄付金（目録）贈呈（第1回分）
土倉会長より白井副総長へ（平成14年5月）



内藤隆富氏100歳長寿祝花束贈呈（令夫人と）
第14回総会（平成17年5月）



懇親会

世田谷稲門会 15年のあゆみ

目次

頁

光輝あまねく	会長	土倉 享一	1
巻頭言	編集委員長	大須賀 肇	2
世田谷稲門会沿革・役員一覧			3
部会・ブロック会・概要一覧			12
土倉尚之初代会長の功績と思い出	編集委員	下条 忠雄	13
事務局に仕えて	事務局長	川村 保夫	14
世田谷稲門会に魅せられて	副会長(部会統括)	柏 良子	15
「ゴルフ部会」小史	部会代表世話人	森 昌治	16
幾山河越え去りて「食べあるき部会」	”	大須賀 肇	17
遊び名人の集団「カラオケ部会」	”	蒲原 信一	18
「麻雀部会」の将来の夢	”	下谷内 堯	19
「スポーツ観戦部会」雑感	”	岸田 正和	20
「ウォーキング部会」のあゆみ	”	寺澤 隆夫	21
「囲碁将棋部会」の発展と「杉の宿」合宿	”	矢田 廣	22
「ボウリング部会」雑感	”	武藤 哲	23
「釣り部会」の発展を期して	”	柴田 昇	24
「写真部会」設立の思い出	”	種谷 鴻成	25
ブロック会雑感	副会長(ブロック会統括)	岩上 健一	26
世田谷稲門会 会則			27
早稲田大学歌集			28
歴代早稲田大学総長一覧他			29
編集後記	編集委員長	大須賀 肇	30
編集委員一覧他			31

光輝あまねく



世田谷稲門会 会長 土倉 享一

「世田谷稲門会」の名が初めて早稲田学報に掲示されたのは平成4年5月発行号でした。「今回初めて早稲田世田谷稲門会が1月より発足しました。(後略)」(寺田記)と掲載されています。初代・土倉尚之、2代・寺田勉、3代・黒澤嘉幸の各会長が歴任され平成8年10月に黒澤会長の任期途中で私が引き継ぎました。創立以来15年を経た世田谷稲門会の歩みの中で、役員・幹事として会の運営に携わり尽力された方々は過去現在を通じて既に50人を超えています。厚く御礼申し上げます。

全国の地域稲門会で最大規模の在住校友1万2,000人を数える世田谷区では校友の把握、会員募集は最大の懸案でした。過去に2,000人規模の入会案内発送を2回試み、それぞれ約5%の新規加入を得ました。平成14年からホームページも開設しました。

会員数はまだ400人に達していませんが、歴代事務局の努力によって年会費納入率95%以上の実質会員を維持しています。スポーツや文化活動の各部会は親密な交流を深めながら活発な活動を展開しています。地域毎のブロック会は平成15年からスタートしました。両輪相まって組織全体の基盤安定、強化に寄与していると考えています。

平成11年には東京23区すべてに各区稲門会がそろって平成6年結成の23区連合が名実ともに整い、15年3月28日をもって早稲田大学校友会東京23区支部が発足(翌年、東京都23区支部に改称)、三多摩支部とともに東京に初めて支部組織が誕生しました。

連合当時の平成12年には私が連合会長の任に当たり、10月のホームカミングデーに大隈庭園を会場にした第1回「23区連合の集い」を主催しました。秋の日差しが注ぐ大隈庭園に真新しい各区稲門会の幟がはためき、全国酒造稲門会提供の銘酒の試飲会、職人が握る江戸前ずし、漫研学生による似顔絵描きなどのテントが並び、湯島天神太鼓、ニューオーリンズのジャズ演奏が加わって最後に校旗入場、応援部学生による応援歌、校歌演奏でフィナーレ。この大隈庭園開放の催しがその後の「稲門祭」に発展する原型となって現在に続いています。

付記しておきたいのは世田谷稲門会の会旗の由緒です。中央の校章の右下に応援歌「紺碧の空」の楽譜の1章節が染め抜かれています。作曲者、古関裕而氏自筆の楽譜をご遺族の同意を得て出身地、福島県福島市にある記念館から取り寄せていただきました。

世田谷区代田に居住された古関氏は、学生時代の、初代・土倉会長と当時の応援部を通じて親交があり「紺碧の空」誕生までに深いかわりがありました。創立15年、伝統の会旗が世田谷稲門会躍進の象徴としてさらに光輝くことを願っています。

[つちくら きょういち(昭和34年政経)]

巻頭言

編集委員長 大須賀 肇



平成3年12月5日の土倉尚之氏はじめ7名より成る第1回発起人会のあと2回の発起人会を経て平成4年11月3日世田谷稲門会の第1回総会が開催された。

この間平成4年1月会則を制定し平成4年1月29日の第2回発起人会に於て土倉尚之氏を初代会長に選任し世田谷稲門会として諸活動を開始した。その後逐次諸改革も行われ今日に至っている。

当初の全体会は会員相互の親睦を図ることが主眼でその内容も懇親会が主体であったがその後政治、経済、文化、芸術、医学、スポーツ等各方面に亘る名士を招聘した講演会の催しも加わり会員の自己啓発と相互親睦を深めることに貢献してきた。また多彩な催事（ビンゴゲーム・音楽会等）も行われ、総会には早大より来賓（副総長）の出席を得て学内情報の報告をいただいている。

一方会員相互のコミュニケーションを図るためにも会報の発行が必要とされ平成6年に着手したものの幹事の人手不足より散発的な発行となっていたが平成11年より定期的に発行される様になった。また広報の拡充という視点より平成14年1月よりホームページの開設が行われ、早稲田学報〔会合だより（平成17年4月より稲門だよりに変更）〕への寄稿と相俟って会員相互のコミュニケーションを図ると共に外部へのPRにつとめてきている。

ゴルフ・ボウリング等を始めとする部会も逐次発足し現在10部会を数え年々活発な活動を展開している。また世田谷区は地域が広大であるため世田谷区を6つのブロックに分けた6ブロック会が平成15年に発足し翌年には7ブロックとなり各地域の会員の親睦がはかられてきている。その他 母校早大125周年記念事業募金に対する積極的対応や東京都23区支部活動への協力等々多方面に亘る貢献を行ってきた。

たかが15年されど15年往時茫茫として古の記録は定かではないが資料蒐集等につとめその全貌を時系列的に沿革にまとめたものが次頁以降の一覧である。

この間ボランティアとして多忙な日常の業務の傍ら会の発展に尽力された役員諸氏（11頁歴代役員氏名任期一覧参照）の健闘にはただ頭の下がる思いであり、心より感謝の言葉を申し上げたい。

〔おおすが はじめ（昭和26年理工）〕

世田谷稲門会 沿革

世田谷稲門会		
年度	全体行事等	総会特記事項他
平成3年 (1991年)		12月5日(木) 第1回発起人会 (大隈庭園 完之荘) 発起人 () 内卒業年次、学部名等 土倉 尚之 (昭8政経) 小林 哲二 (昭45推薦) 小野 正 (昭12法) 寺田 勉 (昭12文) 田辺 信夫 (昭24政経) 下条 忠雄 (昭34政経) 沼田 安弘 (昭35法)
平成4年 (1992年)	1月29日(水) 第2回発起人会 初代会長に土倉尚之就任 6月14日(日) 土倉尚之初代会長急逝 寺田勉副会長が第2代会長に就任 7月18日(土) 第3回発起人会(総会準備) 11月3日(火) 第1回総会(新宿 銀座アスター)(36名) 12月31日(木) 寺田勉第2代会長退任 黒澤嘉幸第3代会長就任	会則制定(平成4. 1) 1. 年会費2,000円 2. 会計年度(1月1日~12月31日)
平成5年 (1993年)	5月15日(土) 春の懇親会(NHK青山荘)(41名) 11月20日(土) 第2回総会 (銀座アスター 三軒茶屋賓館)(37名)	ゴルフ部会(内藤隆福他)発足(9月)
平成6年 (1994年)	5月21日(土) 第3回総会 (リーガロイヤル ホテル早稲田)(49名) 7月29日(金) 納涼懇親会(目黒雅叙園)(54名)	1. 世田谷稲門会会報(以下会報と略称)発行 1号 } 2号 } 合併号(平6. 5. 2) 3号 } 2. 会則改訂(平6. 4) { (1) 年会費3,000円 { (2) 会計年度 (4月1日~3月31日) 3. ソフトボール部会(代表世話人 戸井田幸雄)発足(9月) 4. テニス部会(代表世話人 鈴木正則)発足(9月)
平成7年 (1995年)	1月28日(土) 市川孝二講演「これからの年金制度」 (銀座アスター 三軒茶屋賓館)(57名) 5月12日(金) 第4回総会(リーガロイヤルホテル早稲田) 11月18日(土) 秋の懇親会(五反田 パイエルンホーム) ディナーショウ シャンソン 杉村美恵	会則改訂(平7. 10. 1)

(注) 氏名敬称略

早稲田大学・校友会	国内外の出来事
<ul style="list-style-type: none">○ 総合学術情報センター 開館(安部球場跡地)○ 人間科学研究科 設置	<p>1月 多国籍軍 イラクを支援 湾岸戦争 開始(2月27日終結)</p> <p>4月 新東京都庁舎 西新宿にオープン</p> <p>6月 長崎県雲仙普賢岳で大規模火災流発生 死者37人 行方不明者4人</p> <p>11月 海部内閣総辞職 宮沢内閣 発足</p> <p>12月 ソビエト連邦 消滅 独立国家共同体発足</p> <p>○ この年 日本のバブル経済が破綻</p>
<ul style="list-style-type: none">○ 戸山図書館 開館	<p>2月 アルベールビル 第16回冬季五輪</p> <p>6月 P K O (国連平和維持活動) 協力法案可決成立</p> <p>7月 第25回オリンピック・バルセロナ大会開催</p> <p>9月 自衛隊のカンボジア派遣部隊の第1陣出発</p> <p>○ 世田谷区面積が大田区に抜かれ23区第2位</p>
<p>1月 東京一箱根駅伝 早大総合優勝(往路、復路共優勝)</p> <p>3月 理工学総合研究センター研究棟竣工(大久保キャンパス)</p> <p>4月 理工学研究所を理工学総合研究センターと改称</p> <p>7月 クリントン米大統領大隈講堂で演説</p> <p>11月 東京六大学野球リーグ(秋) 早大 優勝</p>	<p>1月 アメリカ大統領(ビル・クリントン就任)(1期目)</p> <p>4月 天皇后両陛下 歴代初の沖縄訪問</p> <p>5月 プロサッカー・Jリーグ開幕</p> <p>6月 皇太子ご成婚</p> <p>7月 北海道南西沖地震発生 津波などで奥尻島の死者、行方不明212人</p> <p>8月 宮沢内閣総辞職 細川内閣発足</p>
<p>3月 大隈会館 竣工(大学本部1号館より大隈会館に移転)</p> <p>4月 大学院社会科学部研究科 開設</p> <p>5月 リーガルロイヤルホテル早稲田オープン</p> <p>7月 東京都23区稲門会連合 設立 初代会長 大原基良渋谷稲門会会長</p> <p>11月 小山宙丸第13代早大総長退任 奥島孝康第14代早大総長就任(1期目)</p>	<p>2月 リレハンメル第17回冬季五輪</p> <p>4月 細川内閣総辞職 羽田内閣発足</p> <p>6月 松本サリン事件発生</p> <p>6月 羽田内閣総辞職 村山内閣発足</p> <p>8月 東京で過去最高の39℃記録</p> <p>9月 関西国際空港開港</p> <p>○ 大江健三郎 ノーベル文学賞 受賞</p> <p>○ この年バブル期の不動産への放漫融資のつけが表面化</p>
<p>1月 東京一箱根駅伝(早大往路優勝)</p> <p>7月 東京都23区稲門会連合 会長交替 第2代会長(大西鉄之祐→染谷恭次郎)新宿稲門会会長</p>	<p>1月 阪神淡路大震災 死者6,308名</p> <p>3月 東京地下鉄サリン事件</p> <p>4月 青島幸雄東京都知事に就任</p> <p>5月 オーム真理教 麻原彰光 逮捕</p>

世田谷稲門会 沿革

世田谷稲門会		
年度	全体行事等	総会特記事項他
平成8年 (1996年)	2月16日(金) 森口美智子講演「高齢者社会と生き甲斐開発について」(銀座アスター 三軒茶屋賓館)(82名) 6月1日(土) 第5回総会 大隈ガーデンハウス (74名) 奥島孝康総長 講演 10月30日(水) 黒澤嘉幸第3代会長退任 土倉享一 第4代会長就任 11月30日(土) 秋の懇親会(五反田 パリエルンホーム) 早大グリーンクラブ 出演	1. ボウリング部会(代表世話人 戸井田幸雄)発足(9月) 2. スポーツ観戦部会(代表世話人 戸井田幸雄)発足(9月)
平成9年 (1997年)	1月24日(金) 新春懇親会(レストラン スカイキャロット)(110名) 三遊亭真楽 落語「片棒」 5月24日(土) 第6回総会 (三越シルバーハウス)	1. 会報発行 4号(臨時号) (平9. 11. 29) 5号(年末号) (平9. 12. 25)
平成10年 (1998年)	2月14日(土) 新春懇親会 (銀座アスター三軒茶屋賓館) (70名) 森木 亮 講演 「日本経済は“更年期障害” 午前4時の北風が吹き荒れる」 5月9日(土) 第7回総会(喜山クラブ) 11月7日(土) 秋の懇親会 (五反田パリエルンホーム) (37名) ディナーショー (クラシック音楽) ピアノ 宮崎幸子 ソプラノ 西正子	1. 会則改訂(平10. 5. 9) 2. 会報発行 6号(11月臨時号)(平10. 11. 7) 7号(12月臨時号)(平10. 12. 14)
平成11年 (1999年)	1月23日(土) 新春懇親会 (喜山倶楽部) (130名) 奇術 (マジック) 奥井アマチュア奇術連盟副会長 5月15日(土) 第8回総会 (大隈ガーデンハウス) (85名) 千藤三樹男 講演「野球選手に見る指導者の条件」 8月20日(金) 納涼会 (こまばエミナース) (84名) ハワイアン(ナレオシックス) 11月10日(水) 秋の懇親会 (こまばエミナース) (100名) 岡本喬生 講演「オペラの楽しみ」 会員数 11月30日現在429名 世田谷 在住校友 (11月30日) 8,101名	1. 会報発行 8号(平11. 4. 15) 9号(平11. 7. 20) 10号(平11. 10. 10) 11号(平11. 12. 22) 2. 新部会発足 (1) 食べ歩き会(代表世話人 戸井田幸雄)発足(7月) (2) 麻雀部会(代表世話人 下谷内 堯)発足(9月) (3) 釣り部会(代表世話人 柴田 昇)発足(12月)
平成12年 (2000年)	1月22日(土) 新春懇親会 (銀座アスター三軒茶屋賓館) (129名) 桂小文 落語 「あわて者」 5月21日(日) 第9回総会大隈会館 大隈ガーデンハウス (85名) 演出家 和田勉 講演「母校って何だろう」 7月21日(金) 特別企画 東京湾ディナークルージング (146名) 10月22日(日) 秋の懇親会(早稲田大学校内 大隈庭園) ホームカミングデー「東京23区稲門会連合のつどい」と共催 会員数 3月31日現在361名	1. 会則改訂 (平12. 5. 21) (1) 会員資格「年会費納入者」 「年会費5,000円」明記 (2) 会の運営 委員会制 業務分担任は役員会で定める 2. 新部会発足 (1) 社交ダンス部会 (代表世話人 武田信夫)発足 (2月) (2) 囲碁部会 (代表世話人 矢田 廣) 発足 (9月) 3. 会報発行 12号(平12. 4. 21) 13号(平12. 6. 21) 14号(平12. 9. 22)モノクロ印刷に改良 4. 会員名簿の発行 (平12. 4. 1)

早稲田大学・校友会	国内外の出来事
1月 東京一箱根駅伝(早大往路優勝) 7月 東京都23区稲門会→東京23区稲門会連合に名称変更 東京23区稲門会連合会長交替 第3代会長 信井文夫(文京稲門会会長)	1月 村山内閣総辞職 橋本内閣 発足 7月 第26回オリンピック・アトランタ大会開催 10月 小選挙区比例代表 並立による初の衆議員選挙を実施
7月 東京23区稲門会連合会長交替 第4代会長 小松原和夫(豊島稲門会会長) 8月 平成に入り初めて早稲田祭中止 10月 校歌碑建立 12月 ハイテク・リサーチセンター 竣工	1月 アメリカ大統領(ビル・クリントン) 就任(2期目) 4月 消費税率5%に引き上げ 7月 香港中国に返還される
4月 独立大学院 アジア太平洋研究科 設置 5月 会津八一記念館開館 6月 国際情報通信研究センター 設置 9月 教育総合研究所 設置 10月 社会科学部「昼間開講学部」へ移行 10月 演劇博物館創立創立70周年 11月 奥島孝康第14代早大総長 就任(2期目)	1月 関東甲信越に大雪 2月 郵便番号7桁実施 長野 第18回冬季五輪 7月 橋本内閣総辞職 小淵内閣発足
4月16日 早稲田大学125周年記念 事業計画案(第1回諮問委員会)発表 1. 大隈講堂 再生 (50億円) 2. インテリジェント教育研究棟 (230億円) 3. 新学生会館の建設 (80億円) 記念事業資金総額 480億円 募金対策事業費 360億円 (内訳) 自己資金160億円 募金目標200億円 昨今の経済情勢より法人募金は厳しい状況にあり今回は個人募金 中心に進める。 4月 東京23区稲門会連合会長交替 第5代会長 高橋健治(江戸川稲門会会長) 7月 戸山キャンパス36館 竣工 10月24日 第34回ホームカミングデー 11月11日 東京都23区内すべてに稲門会がそろう(未成立の杉並稲門会設立) ○ 東京六大学野球リーグ早大優勝(春)	1月 欧州単一通貨(ユーロ) 導入
3月10日(金) 春季校友会 代議員会 4月 東京23区稲門会連合会長交替 第6代会長 土倉享一世(世田谷稲門会会長) 4月 独立大学院国際情報通信研究科 設置 4月 総合研究機構・プロジェクト研究所 設置 10月6日(金) 秋季校友会代議員会 早稲田大学 商議員(世田谷稲門会選出)(9名) 校友会 代議員(世田谷稲門会選出)(12名) } (平12. 6. 1)付 10月22日(日) 第35回ホームカミングデー 初めて大隈庭園を会場に「東京23区稲門会連合のつどい」開催 世田谷稲門会主催。世田谷稲門会出店(サザエさんグッズ の販売・土井葉子) 12月 オープン教育センター 設置	4月 小淵内閣総辞職 森内閣発足 7月 第27回オリンピック・シドニー大会開催 12月 敬宮愛子内親王 誕生 12月 北鮮 不審船 撃沈 ○ 白川英樹 ノーベル化学賞受賞 ○ 介護保険制度スタート

世田谷稲門会 沿革

世田谷稲門会		
年度	全体行事等	総会特記事項他
平成13年 (2001年)	<p>1月27日(土) 新春懇親会(こまばエミナース)(80名) 狂言師 茂山十郎 講演「初笑い」狂言 太郎冠者の世界</p> <p>5月26日(土) 第10回総会(こまばエミナース)(84名) 早大野球部監督 野村徹 講演「私の野球人生」 早大よりの来賓 石塚博副総長 岡本宏一課長</p> <p>8月25日(土) 納涼会 北欧風スカイレストランオスロ(78名) 早稲田ハワイアンバンド(ザ・ナレオ・ココナッツ)</p> <p>会員数 3月31日現在357名</p>	<p>1. 5月26日 平成13年度年会費 暫定的に 5,000円→3,000円に減額</p> <p>2. 早大125周年記念事業へ、寄付開始 20万円×5年+25万円×1年=125万円 (平成13年度～平成18年度の5年間で)</p> <p>3. 会報発行 15号(平13. 1. 10) 16号(平13. 4. 20) 17号(平13. 7. 20)</p> <p>4. カラオケ部会(代表世話人 蒲原信一)発足(10月)</p> <p>5. テニス部会(代表世話人 鈴木正則)休部(3月)</p>
平成14年 (2002年)	<p>1月26日(土) 新春懇親会(こまばエミナース)(134名) 野末陳平 講演「世相放談」</p> <p>5月25日(土) 第11回総会(こまばエミナース)(96名) 元NHKアナウンサー 生方恵一 講演 「言葉と人間関係」(アナウンサー四方山話) 早大よりの来賓 白井克彦副総長 岡本宏一課長</p> <p>8月3日(土) 納涼会 東京湾クルーズ (129名) 早稲田ハワイアンバンド(ザ・ナレオ・ココナッツ)</p> <p>会員数 3月31日現在365名</p>	<p>1. 会則改訂(平14. 5. 25) 特記事項 年会費の値下げ(5,000円→3,000円)と各部会年会費 の徴収(実費徴収原則 参加費補助行わず) 組織、各業務分担による運営</p> <p>2. 会員名簿の発行(平14. 4. 1)</p> <p>3. 1月1日 世田谷稲門会 創立10周年</p> <p>4. 会報発行 18号(平14. 1. 11) 19号(平14. 4. 21) 20号(平14. 7. 5)</p> <p>5. ホームページの開設(平成14. 1. 1)</p> <p>6. ソフトボール部会(代表世話人 渡辺洋一)休部(3月)</p>
平成15年 (2003年)	<p>1月25日(土) 新春懇親会(こまばエミナース)(101名) 元東京女子医科大教授(医博) 詫摩武英 講演 「中高年の健康について」(アルツハイマー型、脳血管性痴呆)</p> <p>5月24日(土) 第12回総会(こまばエミナース)(88名) 氷川幸樹 講演 「雄弁会に在籍し100周年を迎えて今思うこと」 早大よりの来賓 江夏健一副総長 斉藤鉄生総長室調査役</p> <p>8月23日(土) 納涼会 北欧風スカイレストラン「オスロ」(85名) 早稲田ハワイアンバンド(ザ・ナレオ・ココナッツ)</p> <p>会員数 3月31日現在366名</p>	<p>1. 会報発行 21号(平15. 1. 5) 22号(平15. 4. 25) 23号(平15. 7. 23)</p> <p>2. ウォーキング部会(代表世話人 寺澤隆夫)発足(3月)</p> <p>3. 写真部会(代表世話人 種谷鴻成)発足(4月)</p> <p>4. 6ブロック発足会(平15. 7. 24)</p>

早稲田大学・校友会	国内外の出来事
<p>3月2日(金) 春季校友会 代議員会 4月 独立大学院 日本語研究教育科 設置 4月 理工学 総合研究センター九州研究所 設置 4月 東京23区稲門会連合会長交替 第7代会長 飯野嘉一郎北稲門会長 7月7日(土) 商議員会 10月 新学生会館始動開始 (125周年記念事業) 10月21日(日) 第36回ホームカミングデー・稲門祭 11月17日(土) 商議員会 早稲田実業見学・小室哲也記念ホール 10月5日(金) 秋季校友会代議員会 12月 研究開発センター 設置</p>	<p>1月 アメリカ大統領(ジョージ・ブッシュ)就任(1期目) 4月 森内閣総辞職 小泉内閣発足 9月 ニューヨーク貿易センタービル テロによる破壊</p> <p>○ 野依良治 ノーベル化学賞受賞</p>
<p>3月2日(土) 春季校友会代議員会 7月6日(土) 商議員会 (井深大記念ホール・リーガロイヤルホテル) 10月5日(土) 秋季校友会代議員会(東京都に支部の設置を承認) 10月20日(日) 第37回ホームカミングデー・稲門祭 (大隈庭園) 模擬店出店 (やきとり) 11月16日(土) 商議員会 (井深大記念ホール・リーガロイヤルホテル) 11月 奥島孝康第14代早大総長退任 白井克彦第15代早大総長就任(1期目) ○ 東京六大学野球リーグ優勝(6季ぶり33回目)(6月1日) ○ 東京六大学野球リーグ優勝(34回目)(11月3日)</p>	<p>2月 ソルトレイクシティ第19回冬季五輪</p> <p>7月 日韓共催のサッカーW杯 開催 12月 小柴昌俊 ノーベル物理学賞 受賞 12月 田中耕一 ノーベル化学賞 受賞</p>
<p>3月28日「早稲田大学校友会東京23区支部」発足 (東京23区稲門会連合発展的解消) 初代支部長 真仁田 勉 目黒稲門会長(任期1年) 初代幹事長 鈴木宏治 世田谷稲門会副会長(任期1年) 3月7日(金) 春季校友会代議員会 7月5日(土) 商議員会 (井深大記念ホール・リーガロイヤルホテル) 教育分科会・研究分野分科会 (15号館) 10月3日(金) 秋季校友会代議員会 10月19日(日) 第38回ホームカミングデー・稲門祭 (大隈庭園) 模擬店出店(やきとり) 11月22日(土) 商議員会 (井深大記念ホール・リーガロイヤルホテル) 分科会(テーマ A・B・C)</p> <p>○ 専門職大学院 公共経営研究科 設置 ○ 独立大学院 情報生産システム研究科(北九州) 設置 ○ スポーツ科学部 設置 ○ 川口芸術学校 開校 ○ 第39回 全国大学選手権 ラクビー大学日本一 (11回目優勝)(1月11日) ○ 東京六大学野球リーグ優勝(35回目)(6月2日) ○ 東京六大学野球リーグ優勝(36回目)(11月2日) ○ 早慶戦100周年記念試合(11月26日)</p>	<p>○ 個人情報関連法5法が成立</p>

世田谷稲門会 沿革

世田谷稲門会		
年度	全体行事等	総会特記事項他
平成16年 (2004年)	<p>1月31日(土) 新春懇親会(こまばエミナース) 早大大学院教授 天児 慧 講演 「大国化する中国の政治、経済と外交」(126名)</p> <p>5月22日(土) 第13回総会(こまばエミナース) 恵泉女学院大学教授 大橋正明 講演 「コロナ難民救済を通じたNGOの活動」(88名) 早大よりの来賓 村岡洋一副総長 岡本宏一課長</p> <p>8月21日(土) 納涼会 (97名) 東京湾クルージング(ザ・ナレオ・ココナッツ)</p> <p>会員数 3月31日現在375名</p>	<p>1. 会員名簿の発行(平成16. 4. 1)</p> <p>2. 会報発行 24号(平16. 1. 3) 25号(平16. 4. 21) 26号(平16. 7. 20) 27号(平16. 12. 20) カラー化</p> <p>3. 写真部会(代表世話人 種谷鴻成)発足(4月) ウォーキング部会(代表世話人 寺澤隆夫)発足(4月)</p> <p>4. 7ブロック会発足(平成16. 5. 22)</p> <p>5. 部会代表者会議開催(10部会)(平16. 9. 3)</p> <p>6. ダンス部会(代表世話人 武田信夫) 休部(10月)</p>
平成17年 (2005年)	<p>1月29日(土) 新春懇親会(こまばエミナース)(125名) アスリート 瀬古利彦 講演「箱根駅伝をおえて」</p> <p>5月22日(土) 第14回総会(こまばエミナース)(92名) 世田谷区助役 山田真貴子 講演 「魅力あふれる安全安心のまち世田谷をめざして」 早大よりの来賓 江夏健一副総長 広瀬剛課長</p> <p>8月27日(土) 納涼会 (渋谷マークシティ) エクセルホテル東急(75名) (ディナーショー) シャンソン 黒川泰子 ピアノ 北 正則</p> <p>会員数 3月31日現在372名</p>	<p>会報発行 28号(平17. 4. 20) 29号(平17. 7. 20) 30号(平17. 12. 20)</p>
平成18年 (2006年)	<p>1月28日(土) 新春懇親会(こまばエミナース)(121名) 元映画監督 篠田正浩 講演 (私はどうして「ソルゲ」を作ったかー情報社会とは何かー)</p> <p>5月13日(土) 第15回総会(こまばエミナース)(95名) 元NHKアナウンサー 杉山邦博 講演 「大相撲と私」 早大よりの来賓 江夏健一副総長 広瀬剛課長</p> <p>8月19日(土) 納涼会(こまばエミナース)(68名) (ディナーショー) シャンソン・ピアノ 杉村美恵</p> <p>会員数 3月31日現在366名</p>	<p>1. 会員名簿の発行(平18. 4. 1)</p> <p>2. 会報発行 31号(平18. 4. 10) 32号(平18. 7. 20) 33号(平18. 12. 20)</p> <p>3. 世田谷稲門会としての 早大125周年記念事業寄付(総額125万円) 完了(平成13年度~平成18年度合計)</p>

早稲田大学・校友会	国内外の出来事
<ul style="list-style-type: none"> ○ 東京23区支部→東京都23区支部に改称 2月18日(水) 東京都23区支部大会(リーガロイヤルホテル) 植草一秀 講演「どうする この日本経済」 3月5日(金) 春季校友会代議員会 7月3日(土) 商議員会 (井深大記念ホール・リーガロイヤルホテル) 分科会 10月1日(月) 秋季校友会代議員会 10月2日(土) 商学部創立100周年記念式典 10月24日(日) 第39回ホームカミングデー・稲門祭 (大隈庭園) 模擬店出店(やきとり・ビール) 11月13日(土) 商議員会 (井深大記念ホール・リーガロイヤルホテル) 分科会(テーマ A・B・C) ○ 早稲田大学商議員(世田谷稲門会選出)9名 校友会代議員(世田谷稲門会選出)12名 } (平成16.6.1付) ○ 国際教養学部 設置 ○ 専門職大学院法務研究科(法科大学院) 設置 ○ 専門職大学院ファイナンス研究科 設置 ○ 同系統の学部・大学院・研究所などすべてを統括する学術院が発足 	<p>7月 第28回オリンピック アテネ大会 10月23日(土) 新潟県中越地方で大規模地震発生</p>
<ul style="list-style-type: none"> 2月18日(水) 東京都23区支部大会(リーガロイヤルホテル) 中曽根康弘 講演「静かな革命・日本の転換」 3月4日(金) 春季校友会代議員会 7月16日(土) 商議員会西早稲田キャンパス [8号館(B棟)] 施設見学会(8号館および27号館) 10月1日(土) 秋季校友会代議員会 (校友会代表幹事交代)小林栄一郎→瀬下明 10月23日(日) 第40回ホームカミングデー・稲門祭 (大隈庭園) 模擬店出店(やきとり・ビール) ○ 27号館(小野梓記念館・法務研究科)竣工 ○ 8号館(法学部・法学研究科)竣工 ○ 専門職大学院 会計研究科 設置 ○ 第41回 全国大学選手権 ラクビー大学日本一 (12回目優勝)(1月9日) ○ 東京六大学野球リーグ優勝(37回目)(5月31日) 	<p>1月 アメリカ大統領(ジョージ・ブッシュ)就任(2期目) 3月 愛知で万国博覧会開催</p>
<ul style="list-style-type: none"> 3月6日(月) 春季代議員会 3月22日(水) 東京都23区支部大会 (大隈講堂、大隈ガーデンハウス) 田原総一郎 講演「日本の外交と経済」 7月8日(土) 商議員会 9月26日(火) 秋季代議員会 10月22日(日) 第41回ホームカミングデー・稲門祭 (大隈庭園) 模擬店出店(やきとり、ビール) 11月 白井克彦第15代早大総長 就任(2期目) ○ 26号館(大隈記念タワー 公共経営研究科)竣工 ○ 第42回 全国大学選手権 ラクビー大学日本一 (13回目優勝)(1月8日) ○ 東京六大学野球リーグ優勝(38回目)(10月14日) 	<p>2月 トリノ第20回冬季五輪 6月 サッカーW杯 ドイツ大会 9月 秋篠宮悠仁親王 誕生 9月 小泉内閣総辞職 安倍内閣発足</p>

世田谷稲門会 役員氏名任期一覧

【註】平成4年の誕生から平成18年に至

	氏名	卒業年次 ・学部	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年
会 長	土倉 尚之	昭8政経	■■■■					
	寺田 勉	昭12文	☆☆☆☆					
	黒澤 嘉幸	昭17商	☆☆☆☆	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■
	土倉 享一	昭34政経	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■
副 会 長 幹 事 長 事 務 局 長 幹 事 監 事 (監査役)	田中 耕作	昭22商	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆
	高木 欣治	昭27政経	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆
	前原 祖彦	昭25理工						
	保倉 進	昭25法						
	大須賀 肇	昭26理工						
	寺澤 隆夫	昭29商						
	柴田 昇	昭29商						
	北内 健一	昭29政経		■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■
	藤井 秀彦	昭29政経						
	沓掛 元砥	昭29理工	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■
	武藤 哲	昭29法						
	石綿美知子	昭30政経						
	柏 良子	昭31政経						
	細澤 勲	昭31政経						
	江原 利次	昭31商						
	山口 進吾	昭33法					☆☆☆☆	☆☆☆☆
	麻生 卓司	昭34政経						
	矢田 廣	昭34法						
	岸田 正和	昭34商						
	川村 保夫	昭34商						
	守屋 寧夫	昭35商						
	三橋 宏	昭35理工					■■■■	■■■■
	岩上 健一	昭36法						
	下谷内 堯	昭37政経					■■■■	■■■■
	鈴木 宏治	昭38商						
	横田 吉明	昭38商						
	寺島 邦夫	昭38政経						
	森 昌治	昭38商						
	大西 幸男	昭40法					■■■■	■■■■
	荒井 清	昭40政経						
	島田 實	昭40法					■■■■	■■■■
	天野孝一郎	昭42政経						
	戸井田幸雄	昭42教		■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■
	荘司 真恵	昭43教						
	兼子 信子	昭43教						
	矢田部 茂	昭44商					■■■■	■■■■
	山本 隆一	昭48理工						☆☆☆☆
	岡本 早苗	昭49文					■■■■	■■■■
	立山 永大	昭52政経					■■■■	■■■■
	丹羽 秀男	昭53法					■■■■	■■■■
小林 達夫	昭59文					■■■■	■■■■	
高橋 和敏	昭60法		■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	
小谷野幹雄	昭60商					■■■■	■■■■	
鈴木 正則	昭62理工					■■■■	■■■■	

会 長	■■■■
副 会 長	☆☆☆☆
幹 事 長	☆☆☆☆
事 務 局 長	■■■■
幹 事	■■■■
監事(監査役)	■■■■

(注)1. 他に任期不明のため 表中に記載しなかった沼田安弘(昭35法)沼田宣子(昭37政経)
安海将広(昭59商)高山勝也(昭60推薦)日下部桂子(平2社)田中和明(平2理工)の各氏が尽力されまし

部 会 概 要

(平成19年1月現在)

部 会 名	会員数 (人)	代表世話人 TEL No.	世 話 人	監 事 (監 査 役)	年会費 円
ゴ ル フ	100	森 昌 治 03-3414-6219	(顧問) 平井恒夫、井澤貞夫、 蒲原信一、熊谷慶紀、高橋 毅	守 屋 寧 夫	2,000
食 べ 歩 き	63	大 須 賀 肇 03-3309-0688	柏 良 子、岸 田 正 和、渡 辺 八 郎	関 根 昌 一	1,000
カ ラ オ ケ	37	蒲 原 信 一 03-3307-8368	(部会長) 齊藤政二郎、清水明雄 荒井清	大 須 賀 肇	1,000
麻 雀	33	下 谷 内 堯 080-5540-0245		磯 田 稔	1,000
ス ポ ー ツ 観 戦	30	岸 田 正 和 03-3704-2642	岩 上 健 一、池 田 良 夫	熊 本 昭 二	1,000
囲 碁 将 棋	28	矢 田 廣 03-3700-1378			
ウ ォ ー キ ン グ	28	寺 澤 隆 夫 03-3415-1887	新 井 武、河 内 文 雄、加 藤 隆 夫、 矢 尾 板 煥 二、江 原 利 次	岩 沙 脩	1,000
ボ ウ リ ン グ	24	武 藤 哲 03-3302-2607			
釣 り	23	柴 田 昇 03-3700-1290	寺 島 邦 夫		1,000
写 真	19	種 谷 鴻 成 03-5433-7052	川 村 保 夫、豊 田 宏、鈴 木 宏 治		1,000

(会員数順) (世田谷稲門会ホームページ等より)

ブ ロ ッ ク 会 概 要

(平成19年1月現在)

ブ ロ ッ ク 名		会員数 (人)	代表世話人 TEL No.	世 話 人	構 成 町 名	年会費 円
	愛 称					
A	西 北	49	松 浦 晋 三 郎 03-3325-2320	寺 島 邦 夫、熊 谷 慶 紀 横 田 吉 明	北 沢、大 原、羽 根 木 松 原、代 沢、代 田	
B	千 歳	36	武 藤 哲 03-3302-2607	豊 田 恵 之 助、矢 尾 板 煥 二 蒲 原 信 一、鈴 木 宏 治	桜 上 水、上 北 沢、八 幡 山、 南 烏 山、北 烏 山、給 田、上 祖 師 谷、粕 谷	
C	け や き	72	下 谷 内 堯 080-5540-0254	武 居 達 治、友 吉 彰 兼 子 信 子	梅 丘、豪 徳 寺、経 堂、宮 坂、 桜 丘、桜、船 橋、赤 堤	
D	キ ャ ロ ッ ト	53	守 谷 之 男 03-3424-2511	森 昌 治、萩 原 健 隆 富 塚 兆 弥、奥 田 隆 渡 辺 八 郎	池 尻、三 宿、野 沢、太 子 堂、 若 林、三 軒 茶 屋、下 馬、駒 沢、駒 沢 公 園	
E	き ぬ た	52	吉 村 豪 介 03-3483-7052	川 村 保 夫、河 村 卓 郎 高 橋 毅	成 城、砧、祖 師 谷、千 歳 台、大 蔵、 砧 公 園、喜 多 見	
F	玉 川	51	浜 田 康 夫 03-3704-0226	井 沢 貞 夫、平 井 恒 夫 大 内 秀 行、真 木 郁 夫 谷 田 部 茂、柴 田 昇 岸 田 正 和	奥 沢、尾 山 台、中 町、上 野 毛、等 々 力、 玉 川 台、玉 川、宇 奈 根、玉 川 田 園 調 布、 野 毛、東 玉 川、瀬 田、岡 本、鎌 田	1,000
G	さ く ら	41	矢 田 廣 03-3700-1378	若 林 昭 男、奥 田 一 志 江 原 利 次、荒 井 清	上 用 賀、用 賀、新 町、桜 新 町、深 沢、 弦 巻、玉 川 台	

(注) 未加入 21名 合計 375名
(世田谷稲門会事務局調査)

土倉尚之初代会長の功績と思い出

下条 忠男



世田谷稲門会は、昭和34年政経卒の同級生、現会長土倉享一君の父君尚之氏の呼び掛けにより平成3年12月5日大隈庭園の完之荘で開かれた第一回発起人会で産声を上げました。

メンバーは土倉尚之、小林哲二、小野正、寺田勉、田辺信夫、沼田安弘、下条忠男の7名でしたが、多くの方が亡くなられ、発足後15年の今では世田谷稲門会会合に出席するのも私一人となりました。

ところで尚之氏から世田谷で稲門会を作りたいと相談を受けた時、私は、東京で、それも広い世田谷でどうやって校友に呼びかけるのか、独立自治の精神に富み、群れるのを嫌うワセダマンが賛同してくれるだろうか、仕事柄世田谷区での組織作りの難しさを知っていた私はそう楽観視はしませんでした。母校愛が人一倍強い尚之氏の強いリーダーシップがそれを克服したのだと思います。

土倉尚之氏は、明治40年現在の富山県高岡市で生まれ、昭和8年政治経済学部を卒業。同年田中穂積総長の推薦によって希望した満鉄へ入社し、昭和20年吉林駅長の時終戦を迎え、翌年引き揚げ後、建設業を営んでおられました。

在学中には応援部の団長を努められるなど大陸型の大人の風格のある方でした。

ある時、土倉享一君から猪鍋を食いに来ないかという誘いがあり、家内同伴で何ったところ土倉君の同僚のNHKの記者、テレビで人気のアナウンサーなどがいて酒を酌み交し、議論を闘わせましたが、それを泰然自若として聞いておられ、時には議論に入っただけの姿が今でも思い浮かびます。ところが誠に残念なことに尚之氏は、平成4年1月発起人会で初代会長に推戴されましたが、6月突然脳出血で倒れ、私が駆け付けた時には意識不明の重体で急逝されました。

桐ヶ谷斎場で執り行われた葬儀では、早稲田大学応援部の学生諸君と参列者が斉唱する「都の西北」に送られ黄泉の国へ旅立たれたのであります。

以上のように世田谷稲門会は土倉尚之氏なしには語ることはできません。設立に執念を燃やし、礎を築いた土倉尚之初代会長と会長を支えた諸先輩に感謝し、併せて世田谷稲門会の益々の発展と皆様のご健勝を祈念し筆を擱きます。

〔しもじょう ただお（昭和34年政経）〕

世田谷稲門会「15年のあゆみ」編集委員

事務局に仕えて



川村 保夫

私が事務局入りしたのは平成13年の総会時。当初会計担当として寺澤隆夫前事務局長を補佐、その後平成16年の総会時で事務局長に選任され今日に至っている。この間5年半になるが、人さまさま受ける感じは異なるものの私なりに事務局の業務の実感を率直に言わせていただくと、「極めて単純ではあるが、極めて手数がかかる業務」である。しかし、この業務を着実にこなさないとご批判の種になるし、トラブルの要因につながる。日々「寛容と忍耐」の精神を胸中に持ちつつ業務にあたるよう心がけている。

過去の会報に目を通し、先人のお話を伺いながら事務局の足跡を振り返ってみると設立当初の初代事務局長は戸井田幸雄氏で、当然のことながら会員をいかに多く集めるかを最重点項目に工夫をこらし、さらに役員構成をふくめ会の組織をどうするか、会則は、会費はいくらにすればよいか等などモデルはあっただろうが、ともかくあれもこれもと考えられる全てを押し出し、会のレール敷きに大変なご努力とご苦勞をされたことがしみじみと偲ばれる。心から敬意を表したい。

時が過ぎ第2期に入ったと思われるのが平成12年5月以降の4年間、私の前任である寺澤隆夫事務局長が担当された時期ではなかろうか。前任者の実績を継承しつつ業務全般の見直しと問題点の修正を行い、さらに新しい業務を取り入れ会の充実と向上を図った。主な実績をみると①ホームページの立ち上げ、部会・ブロック会の活用等による会員数の更なる増加②年会費納入の徹底による納入率の大幅向上③一方無駄な経費の削減による貴重な会費の有効活用、さらに④会員相互の親睦を図る年3回のイベントの確立、加えて早稲田学報への積極的投稿・稲門祭での模擬店参加による「世田谷稲門会」のPR、部会への補助金ルールの新設・ブロック会の設立等今日の世田谷稲門会の基盤強化を行った。

そしていよいよ現在の私の任務時期に入るわけであるが、もちろん前任者の輝かしい実績を把握・継承すると共にさらなる前進を心がけ①ブロック・部会活動を通しての会員数の増加、特に若手会員・女性会員の増強②多数の会員が参加する魅力ある3大イベントの企画③年会費高納入率の定着化と年会費の有効活用を業務の中心に会のスムーズな運営を心がけている。まだまだ自己評価は厳しいが会員各位の採点は如何。

いずれにしても年々会員数が増加し規模が拡大されて行くと事務局だけの頑張りでは会の安定した運営は難しい。何かと苦勞は伴うものの会のスムーズな運営に日々努力していることをご理解いただき、会員各位の積極的かつあたたかいご支援ご協力を心からお願いしたい。

15周年を迎えたこの機会にあらためて会員と事務局が一体となって活動し、「世田谷稲門会」が地域稲門会の模範となるよう一層の努力をし、次の代に引きついでゆきたいとおもっている。

〔かわむら やすお(昭和34年商)〕

世田谷稲門会 副会長兼事務局長

世田谷稲門会「15年のあゆみ」編集委員

世田谷稲門会に魅せられて

－ 部会参加で心豊かな人生 －



柏 良子

冒頭に私事で恐縮ですが、世田谷稲門会に入会させて頂いた切っ掛けは、早稲田学報の会合だよりに掲載されていた「食べ歩き部会」の楽しい記事にひかれたからです。人一倍食いしん坊な私は早速行動を開始しました。先ずNTTで投稿者の大須賀肇氏の番号を調べ「31年卒業の柏と申しますが（食べ歩き部会）に入会させて下さい」と申し出ました。突然の不躰な電話に先輩もさぞ驚かれた事でしょう。いま思うと赤面の至りです。早速、前任の寺澤隆夫事務局長より入会手続きのご連絡があり「当会には申込書の下に記されている各部会がありますから、希望の部会を記入して下さい」とのこと「食べ歩き」を含め幾つかの部会を申し込みました。晴れて、世田谷稲門会のお仲間に入れて頂いた次第です。平成12年の夏の事でした。

年を重ね新年会、総会、納涼会を始め各部会に参加させて頂く事により、多くの有能な方々と知り合うことが出来ました。いま迄以上に元気も出て参りました。こうして沢山の“励み”を頂いた、稲門会に少しでもお手伝いできたらと新参者ながら年令的には古株なので、平成16年より部会の統括をさせて頂いております。

現在当会には、会員数最多の「ゴルフ部会」を始め「ボウリング」「スポーツ観戦」「食べ歩き」「麻雀」「釣り」「囲碁将棋」「カラオケ」「写真」「ウォーキング」と計10の部会があり、各世話人の皆様の一方ならぬ御尽力で活潑な活動が続けられています。唯、残念なのが「ソフトボール」「テニス」「社交ダンス」の部会が会場不足や参加人員の減少等の理由で休部になっている事です。これらの部会が復活できるようお世話を下さる方が是非出ていただきたいと思えます。

平成16年9月には世田谷稲門会では始めて部会代表者会議を開催しました。各部会の代表より当面する諸問題や今後の方向について貴重なご意見、ご要望をいただき多大の成果をあげることができました。また会員の皆様の中には「色々な部会に参加したいが日程が重なってしまう」という意見もあります。今後の課題として各部会横の連絡を密にしながら、日程を決めて行きたいと存じます。

会員の皆様、スポーツや文化活動を通じて人の輪をもっともっと広げましょう。多くの方々の部会参加をお待ちしております。

〔 かしわ よしこ（昭和31年政経） 〕
世田谷稲門会 副会長兼部会統括
世田谷稲門会「15年のあゆみ」編集委員

「ゴルフ部会」小史



森 昌治

はじまりは、平成5年9月、習志野C. C空港コース。優勝は、世田谷稲門会の至宝、内藤隆福さんである。平成19年4月には部会伝統のコース中津川C. Cで50回の記念大会を予定し、ほぼ100名近い会員を誇るゴルフ部会もはじまりは、6名であった。はじめの頃は、初代世話人の北内さんが、ゴルフ場の予約金やら賞品等を当日まで立て替えている様な状況であったが、会員数の増加と開催回数の増加と共にその負担軽減と運営の効率化をはかるため、2代目世話人の平井さん、寺澤さんが中心となり平成9年4月部会会則並びに競技会実施細則を制定、年会費2,000円を徴収する事となった。これを機に、代表、会計、競技、記録、監事などそれまでの趣味の仲間内ゴルフ部会から組織だった部会へと大きな変容を遂げ現在3代目となる私はこれを踏襲しているにすぎない。スタートからの歴史が深まるにつれ会員の増加と年令も上昇し、平成11年には、グランドシニア・レディース部門を設置し、部門別表彰制度を行ってきたが平成18年春になり、75才以上の会員が20名を超えるにいたり、70才以上の旧グランドシニアを75才以上と74才以下に2分割し75才以上をグランドシニア、70才ー74才をシニアとすることになった。従って現在は、先の2部門に一般とレディースを加え4部門の表彰制度をとっている。コンペ後のパーティーは表彰される人数が増加し、なごやかなうちにもにぎわいのある雰囲気は、なかなかである。現在も80才を超える会員が現役で活躍されているが、あと4～5年もすれば、この元気印グランドシニア群団が大きくなるとなるとまたまた新しい部門を設けることになりはしないかと将来の展望どころか、うれしい大きな悩みである。幸い高齢化社会対策としてゴルフ場も乗用カートの導入には、積極的であり、うれしい悩みは今や現実的になりつつある。

ゴルフ部会は、今や世田谷稲門会会員の4分の1強の方達に参加をいただいている。これもひとえに北内さんをはじめ現在も現役で活躍していただいている2代目世話人平井さん、寺澤さんという良い先達のおかげであり3代目私が15年史に筆を取ることをはばかりましたが、最後にお二人の気持ちを代弁すれば『稲門会にいろいろ部会はあるけれど、こんなに上手く世話人の交代が順調に進んでいるのは、ゴルフ部会だけだろうな。』

〔 もり まさはる (昭和38年商) 〕
世田谷稲門会「ゴルフ部会」代表世話人

幾山河こえ去りて「食べ歩き部会」



大須賀 肇

現在の「食べ歩き会」の発足は平成11年で、戸井田幸雄氏（昭42教）の肝入りで休止していた部会が再発足し今日まで年4回のペースで例会を重ね平成18年11月の例会で通算30回となりました。現在の会員数は60名をこえ世田谷稲門会の部会としてはゴルフ部会に次ぐ大部会となっており例会には多い時は40名に近い会員が出席され親睦交流を深めております。これもひとえに世話人としてご尽力いただいた皆さまの、ご協力の賜と深く感謝しております。

「食べ歩き部会」のそもそもの発祥は沼田宣子さん（昭37教）が主宰され発足した部会で私も世田谷稲門会入会後に何回か例会に出席させて頂きました。当時参加者も確か10名程度でしたが内容的には歌舞伎や文楽の鑑賞をはじめ絵手紙講習会など多岐に亘りすばらしい企画をすすめられてきましたが残念なことに世話人のご都合で休部となってしまいました。特に人間国宝竹本住太夫氏の講話を伺い文楽を鑑賞した事は古典芸能への理解への一助となったすばらしい企画でした。しばらく休止していた部会が装いも新たに新世話人により発足した第1回の例会が平成11年7月17日の「箱根湯本ホテル」での「豆腐懐石料理と温泉入浴」日帰りの旅でした。参加者10名というこじんまりした会でしたが楽しい一日を過ごしたことが思い出として残っております。その後内規等の整備も進み、逐次会員も増加しこの間代表世話人も戸井田幸雄氏から麻生卓司氏更到大須賀肇へと替り今日に至っております。

文化や芸術に触れる見学会に併せその土地の美味しい料理を味わい、また景勝地を訪れる等自然の景観を楽しむことを視野にいたした催しを企画、年4回の例会を開催し毎回豊かな経験を重ねる事が出来ました。会員各位よりの楽しかったという声を聞く度に世話人としての苦労も吹きとんでしまいます。また会員の希望により行われる特定の催しは有志の会として内規に規定し希望者を限定（定員の問題）して実施しています。即ちJRA競馬観戦、国内外旅行、花火鑑賞の会等々で好評裡に行われております。

すばらしい風景、その土地土地の美味しい食べ物、心暖まるもてなし、そして後で振りかえるノスタルジア等さまざまな出会いは人生を豊かにするものと思います。会員各位の人生を豊かにする一助になるように今後もいろいろ企画をこらし、この会をもり上げていく所存ですので各位のご支援のほどよろしくおねがいます。

〔 おおすが はじめ（昭和26年理工） 〕
世田谷稲門会「食べ歩き部会」代表世話人
世田谷稲門会「15年のあゆみ」編集委員長

遊び名人の集団「カラオケ部会」



蒲原 信一

1.〔設立〕当部会は平成13年10月に誕生、その後5年経過、部会は25回、部員数も37名と順調に成長していますが、その誕生の切っ掛けは、ひょんな事でした。

当時積極的に活動していた囲碁部会の定例旅行（13年6月、湯河原）で、余興で行ったカラオケタイムが大変盛り上がり是非カラオケ部会をつくらうという事になりました。その時大変上手に演歌を唄った齊藤氏（現カラオケ部会長）を代表にする事を衆議一決、世話役を清水氏と蒲原が引き受け、後日本部に設立申請を行い、同年10月20日に第1回の部会を用賀のカラオケボックス「ドレミファクラブ」で挙行了しました。（参加者13名）

2.〔当部会の目的〕“楽しく、そしてレベルアップを目指して”がスローガンです。単に集って唄うというのではなく、カラオケを通じて部員相互の親睦を図ると共に上手な部員のアドバイスを得て上達することを心がけています。又カラオケは健康増進や老化防止にも役立つと言われていています。これは基本動作が腹式呼吸である事、歌詞を覚えたり感情移入等の行為が左右の脳を使用する為、脳全体の活性化が図られるというものです。

3.〔現状〕現在の活動状況は次記の通りです。

例会 1月（新年会）3月、6月、11月（総会）

特別部会 9月（カラオケ1泊旅行）

通常の例会は、用賀のカラオケボックス「ドレミファクラブ」の個室を借り切り土曜又は日曜の午後に行い、軽い飲食も用意します。新年会は、部員の顔が効く区内のカラオケサロンを借り切り、昼食付、フリードリンクという豪華版です。又、旅行は区指定の保養施設から選出した湯の宿で、温泉、料理、付近の観光等を楽しむ欲張りな企画です。今迄、例会は20回、旅行は伊香保、石和、塩原、強羅、伊豆長岡と5回の実績です。尚レベルアップの手段としては、前述の通り上手な部員のアドバイスや、特別企画として、プロ歌手を招聘して当人の歌を直接聞いたり一緒に唄う等の機会をつくっており、既に2回、中堅演歌歌手の招聘が実現しています。

4.〔当部会の特徴〕ここで当部会の特徴を少し書きましょう。まず部員の年齢巾が広く、皆さん年のわりには大変元気な事。因みに最高年齢は百一才の長老（内藤先輩）が頑張っておられます。次の特徴は、部員各自の趣味が広く、一人平均3～4の部会（例えば、囲碁、ゴルフ、カラオケ、麻雀、ボウリング、食べ歩き等）に属しており、正に遊び名人の集団です。又歌の方は、そのジャンルが広く、ナツメロ、新曲、演歌、ポップス、バラード等賑やかで、軍歌があれば、「冬ソナ」等の若者の歌が飛び出すという具合です。

5.〔今後の課題〕最後に課題について述べたいと思います。運営も軌道に乗ってきており今後はマンネリ化防止を工夫する必要があります。当面のアイデアとしては次の事を考えております。

- (1) 他の稲門会カラオケ部会との交流。
- (2) 歌謡ショー、ライブ等を聞く。
- (3) プロ歌手とのふれ合い。専門家の指導を受ける。
- (4) 指定曲による勉強会等を検討する。

〔かんばら しんいち(昭和33年政経)〕
世田谷稲門会「カラオケ部会」代表世話人

「麻雀部会」の将来の夢

—健康、長寿、幸せのために—



下谷内 堯

昭和天皇がお亡くなりになられて4年後に少数の有志の方々のご尽力により発足された世田谷稲門会も、はや15年、益々のご隆盛を心からお祝い申し上げます。

我が麻雀部会はそれに遅れること7年、6名で産声をあげて以来、失われた10年（平成不況）にも不拘、会員・部員の皆様の暖かなご支援の下、高度成長路線をゆっくりと歩み、現在も盛況下にあります。

麻雀の効能は、マスコミ、医学誌等に頻繁に報告されて居ります如く、指先と頭を使うことによる老化及び痴呆症防止ですが、それ以外にも（1）瞬時の決断力（2）危険予知及び回避（3）他者の考えへの先読みによる良好な人間関係の維持（4）ゼロサム時代の生き残り策等々多くのメリットが考えられます。

最近TV・パソコンソフト・書籍等による各種麻雀教育も盛んですが、いずれも机上のシミュレーションに過ぎず、生身の人間3人を相手とする心理戦・緊張感は、一度経験するとヤミツキになる程の快感があります。

当部会は、この様な擬似人生体験を安全・安心・低価格で体感できる場の月2回程度の提供を通して、部員各位の健康・長寿・幸せの達成に微力ながら動いて居ります。

過去を振り返るのは、脳の進化停止の第一歩と言われて居りますので、世田谷稲門会の皆様が明るい未来に生き、満足した一生を過されませう、麻雀部会の近未来を初夢に託し、述べさせていただきます。

1. 目下、目黒、渋谷の2地区の稲門会との交流を、3年以内に10区程度まで迄拡げたい。
2. 前項の実践を踏まえ、5年以内に23区稲門会麻雀大会の開催を共催したい。又女性部会員の比率を3割程度にアップしたい。
3. 7年以内に関東地区稲門会麻雀大会を共催したい。
4. 10年以内に、全国稲門会麻雀大会を共催し、以降、隔年毎に共催したい。
5. 特に年限は定めないが、他大学校友会麻雀部との交流を活発にし、皆様の人脈に厚みを殖やし、又、健康面でのヘッジを行ないたいと考えている。

これ等を、夢として終らせるのでは無く、その実現スタートを榮えある創立15周年の年とし、計画の実現に邁進したいと考えています。

〔しもやち たかし（昭和37年政経）〕

世田谷稲門会「麻雀部会」代表世話人

「スポーツ観戦部会」雑感



岸田 正和

強い早稲田を期待してのスポーツ観戦は現役の学生と共に青春時代に戻った幸せな時を謳歌できます。

世田谷稲門会が平成4年1月に発足後4年を経て、スポーツ観戦部会はまず伝統ある野球早慶戦の応援からスタートしました。初代の観戦部会の代表世話人は戸井田幸雄氏で山口進吾氏に更に岸田正和に引き継がれ関係世話人の協力を得て今日の発展をみえています。

平成11年からは現副会長で前応援部監督の岩上健一氏の尽力により他では経験できない野球早慶戦を特別学生席で観戦し格別な迫力と満足を実感し今日に至っています。参加者は毎回30～50名に及び早稲田マンとしての幸せを味わっています。特に平成15年春には好投手和田選手の活躍で52年ぶりの3連覇を達成し、更に15年秋には4連覇し強い早稲田を実感しました。平成12年の早慶1回戦は森元総理と奥島前総長が観戦され、4連覇の際には白井総長が学生応援席から挨拶され早稲田ならではの光景が見られました。

平成14年からはラグビー早明戦観戦を始めました。会場の国立競技場は5万人を越す超満員でした。関東対抗戦グループでは圧倒的な強さを発揮して清宮監督が平成17年まで5連覇の偉業をたてた好試合を観戦できました。今後も前進する早稲田ラグビーを期待しています。イラクで凶弾に倒れた故奥大使が監督と共に掲げたモットー「究極の破壊」は早稲田ラグビーの象徴で追悼試合の早明戦は圧巻でした。

早稲田スポーツも更に箱根駅伝、サッカーなどが名実共に強くなる事を期待して観戦の巾を広げたものです。平成18年は細沢勲氏の紹介で3年ぶりに勝利した早慶レガッタ観戦も加わり、さわやかさと魅力を添えることができました。今後も益々世田谷稲門会で観戦を楽しむ活力ある部会にしたいと思います。会員皆様のご参加とご協力をお願い致します。

〔 きしだ まさかず (昭和34年商) 〕

世田谷稲門会「スポーツ観戦部会」代表世話人

「ウォーキング部会」のあゆみ



寺澤 隆夫

最近「メタボリックシンドローム」とか「生活習慣病」と言われている「糖尿病」がその予備軍まで含めると1,300万人もいるといわれています。

そしてこの対策として①食事療法②運動③薬の三つがありますが、この内歩くのが最も効果があるとされています。

このような時我が稲門会では新井さんが発起人となり「ウォーキング部会」が平成15年3月に発足した若い部会です。

現在会員数は30名前後ですが、盛夏の8月を除き毎月第2日曜日を例会日として、既に40回以上を数えています。

そして世田谷区内の殆どの「道」は歩き終わり最近では近隣の目黒・大田・中野区に足を伸ばしています。特に18年度は川越・寅さんの柴又・レインボーブリッジからお台場・三崎から城ヶ島等を訪れています。

大体午後1時に集合して5～7Kmを2～3時間掛けて平均10名位でゆっくり歩くことにしています。

稲門会のウォーキング部会の特徴として、18年から世話役を全員が分担して担当することにした点があります。即ち世話人は事前に予定コースを実際に歩いて時間・休憩場所・トイレの場所等を確認、地図をコピーしたり歴史的な場所や建物についてはその辺のことを調べることにしています。従来は新井さんや河内さんに任せていたのが、自分たちでその役割を担うことで「マイ部会」という意識が高まったようです。

以前は午後からのウォークだったのが物足りなくなり平成17年度からは年に2回は1日コースを企画するようになりました。何れ泊りがけの企画も生まれるかもしれません。

ゴルフや食べ歩き等の部会に比べると少人数の部会ですが、年1回は総会を開き今年の反省と次年度の訪問先を全員で検討するという楽しい部会です。

本部としては代表世話人：寺澤、企画担当：新井・河内・矢尾板、会計担当：加藤・江原、監査：岩沙の各氏にお願いしています。

〔てらさわ たかお（昭和29年商）〕

世田谷稲門会「ウォーキング部会」代表世話人

「囲碁将棋部会」の発展と 「杉の宿」合宿



矢田 廣

世田谷稲門会囲碁部会の設立は平成12年9月であり部員は当初5～6名だったが、目下の所、総勢有段者及び級位者を含め28名。殆どが囲碁だが、平成13年9月より将棋も加わり部名も囲碁部会から囲碁将棋部会へと変更した。部員は囲碁と将棋も指すのが5名いる。囲碁の棋力は8段を筆頭に5級程度まで様々だが、囲碁はハンデ戦なので実力はさほど気にならず、高段者から級位者まで和気藹々と打てるのがいい。世田谷稲門会の囲碁の例会は年間5回3月、6月、9月、11月、12月この外に、6月オール早稲田囲碁大会（東京23区囲碁部はもとより三多摩地区、神奈川県横浜地区、千葉稲門会も参加して行う早稲田大学囲碁部の最大の大会で一度に300名以上参加する。早稲田大学囲碁部、同教職員、学生等も参加して行われる年一回の団体戦である本大会には毎回世田谷稲門会囲碁将棋部会も必ず参加している。）10月に囲碁の稲穂会（秋に行なわれる早稲田大学囲碁部の個人戦で参加者およそ100名近い）への参加を含めると年間7回を数える。将棋については10月のオール早稲田将棋大会の外、渋谷、目黒稲門会との将棋大会がある。両方を含めると年間9回以上にもなる。更に今後23区の他の稲門会との対戦も検討中なので全部出れば月1回を越える事になる。

当部会のメインイベントは湯河原の「杉の宿」合宿であり、最近では平成18年9月3日（日）朝10時、皆で成城に集り小田急で出発。湯河原にて昼食後「杉の宿」に1時到着。直ちに囲碁を打ち始める。参加者は9名の総当り。日曜の昼下がりのこともあり、対戦者はまばら。ゆったりとした大部屋で囲碁は始まった。対局合間を縫って三々五々風呂に行く。ここ別館5階にある露天風呂は残暑の日差しを浴びて、周囲の山々の稜線がくっきりと見え、気持ちがいい。周りの杉林からは蝉の合唱が聞こえ最近の東京ではあまり見られなくなった赤トンボが群れをなし所狭しと飛びかっている。

夕食まで一人平均5局打つ。大庭8段、武藤7段、斉藤6段、蒲原5段が勝ち進む。夕食は新鮮な魚介類の舟盛を囲んで飲み放題の懇親会を開催、更にカラオケへと場所を移すという楽しい合宿であった。

以上年間の行事も盛りたくさんなので、今後とも出来るだけ多くの方々が参加されることを願っている。

〔やだ ひろし（昭和34年法）〕

世田谷稲門会「囲碁将棋部会」代表世話人

「ボウリング部会」 雑感

－部会設立から現在まで－



武藤 哲

平成8年9月29日（日）、当時事務局長であった戸井田幸雄氏（昭42教）が代表世話人となって発足。

開催場所 世田谷オークラボウル

参加者数 6名

内 容 午前9時より、2ゲームの投球。

以後、毎月1回、原則として第3日曜日に例会を開催することに決定。

9年7月、渋谷稲門会より合同開催の申し出あり、同月例会より実施。

11年6月例会より、開始時間を午前11時、3ゲーム制に変更。

同年8月例会より、代表世話人が戸井田幸雄氏より武藤哲に交代、現在に至る。

「新記録・高得点（200点以上達成者）」

11年6月、戸井田幸雄（昭42教育） 212点

12年1月、石井 治（昭51社会） 219点（新記録）

16年3月、斉田 裕二（昭50政経） 211点

18年9月、江口 力（昭24政経） 202点 同時に6連続ストライク達成（新記録）

「賞品付大会」

11年6月20日（日）、世田谷15名、渋谷7名参加して初の賞品付大会を実施。

過去6ヶ月間の実績をもとに、各人別にハンデを計算、3ゲームの合計得点で順位を決定。

賞品は、和洋酒、有名銘菓、各種日用品、早稲田グッズ等、高得点順にお好みのものを選出する方法で全員に授与。

以後、原則として6月と12月の年2回、同大会を実施することに決定。

「ボウリングで健康増進と生活に潤いを」

近時、運動不足から生活習慣病が増加しているとか。ボウリング3ゲームの運動量は、ウォーキング1時間20分に匹敵、その割りに疲労感は少なく中高年の健康管理には最適のスポーツ。

オークラボウルはレーン数30、広々とした快適な環境で、親しい同僚と声援を交しながらピンを倒す快感は最高!!

健康増進、ストレス解消して、明るく楽しい生活をーさあ！レッツ・ゴー・ボウリング!!

〔むとう てつ（昭和28年法）〕

世田谷稲門会「ボウリング部会」代表世話人

「釣り部会」の発展を期して



柴田 昇

平成10年10月25日ホームカミングデーにて、土倉会長の熱心な勧誘と釣り部会があると聞き、世田谷稲門会に入会、翌平成11年12月に釣り部会を正式に発足させ、初代代表世話人となった。

会社勤め時代、100名の釣り部の会長をやり、釣りインストラクターの資格も取っていたので、少しでも釣りの良さを知ってもらおう心算で、同好の士を集めた。元来小生の好みは春から秋へは、伊豆狩野川中心の溪流釣り、冬は東・南伊豆の磯釣りであり、伊豆の宇佐美・伊豆高原に別荘を造り據点とした。沖船釣りは、年をとってからと思っていたが、釣り部会をつくるとそうはいかなくなった。

部員の中でも世界的に有名な海洋写真家の中村庸夫氏（昭49理工）は、年半分日本に帰ってくると誘いが有り、真鯛、いなだ、めじまぐろ、かつお、かわはぎ釣りに同行した。船釣りが主体となるにつれ初心者の入会者が増えてきた。定年後昔やった事があるが、又始めたい、きれいな海、空を満喫したい、新鮮なおいしい魚を食べたい、のんびりと釣り仲間と竿をたらしたい方が、入会された。

釣りは、好みで種類が多く、仲々全員の希望をかなえる事がむずかしいので、回数を増やし成る可く参加出来るように計画している。現在毎月1回の溪流か磯、堤防釣り、毎月最終日曜日の船の沖釣りで、年24回の釣行を実行している。平成17年より年1回1泊の合宿を始めた。18年は、寺島君の加入している熱海初島エキシブに泊り、堤防でめじな、たかべ釣りを実施した。又年1回新年会を行なっている。19年は吉村君経営の中華料理店で開催した。

近年他23区稲門会には、釣り部会がないようなので、大田、新宿、豊島稲門会よりも準会員として入会している。

事務局には、磯釣り、溪流釣り、船小物釣りを得意としている寺島君（昭38政経）にお願いしている。小生今年は、45cm、1kgの岩魚を狩野川上流で釣ったが、溪流釣りは、危険が伴うので、余り勤めていない。成る可く安直に初心者でも参加出来る釣り計画を樹て、全員相互の親睦を図ってきたい。

〔しばた のぼる（昭和29年商）〕

世田谷稲門会「釣り部会」代表世話人

「写真部会」設立の思い出

種谷 鴻成



写真部会の設立は平成15年4月で今年は4年目になります。写真部会の設立の発端は14年暮に前原さんから写真部会を設立して欲しいと依頼された時に始まり、断れずお引き受けする事になりました。しかし実際にはどう作り、どう運営するかは本当に不明の状況の中で応募が18名もありました。そこで応募された皆さんの写真歴の実態とご希望をお聞きするためにアンケートを作成お送りしました。

その結果として多くの方々は「写真歴は長いが、写真を作品として撮るよりも記録の意味合いで撮っており、何とか作品作りを習得したい」という事と「カメラのデジタル化とプリント方法について新知識を得たい」という二つの方向が分かりました。そこでこの方針で運営する事に決め、第1回会合を開催し皆さんの合意を得る事になりました。参加者の中に本格的に作品作りを行っているベテランの方が数名おりましたので、そのご協力を頂いて会を進める事が出来ました。世話人には川村保夫さん、鈴木宏治さん、豊田宏さんにお願ひしました。

しかし20名近い人数の会合を開く会場の確保が大問題でした。例会の方法は作品のプリント（デジタルおよび銀塩）を各自数枚持ち寄り皆さんと批評しあい、また撮影方法やデジタルの話を質問を答える方法をとりました。会場の問題はなかなか解決出来ず鈴木さんのお世話で最初は新宿の中華レストランの部屋を借りて例会を実施しました。この事は例会後会食したので親しくなるのには役立ちました。やっと2年後の平成17年6月から東京農大校友会館「グリーン・アカデミー・ホール」の会議室を借りる事が出来、太陽の光が入る明るい部屋で楽しく例会が開けるようになり、現在も続行して使用しています。

約3年半で会員の皆さんの実力は急速なレベルアップをしています。（撮影技術とプリント技術等）世田谷稲門会のお陰で新年会会場での2回の写真展、初の会報内での紙上写真展も出来、会員にとって非常に大きな励みになりました。初めは皆さんどんな作品を出されるのか心配でしたが、それは杞憂でした。

カメラ、パソコン、ソフト、プリンター、用紙の進歩で、銀塩写真（フィルム）のモノクロ時代にはあってカラー時代になって無くなってしまった自分で仕上げるプリント作業が復活出来、「初めから終わりまで自分が責任持って作品を仕上げると言う大事な事」が出来るようになりました。それも誰でも出来る時代になりました。この点を理解して更に会員の皆さんがレベルの高いプリントを追求されれば、作品のレベルが上がり写真の本当の楽しみ方が味わえます。皆さんと一緒にハイレベルな作品作りを目指します。

〔たねたに こうせい（昭和31年理工）〕

世田谷稲門会「写真部会」代表世話人

ブロック会雑感



岩上 健一

ブロック会が盛んに行われる様になった。統括責任者として大変嬉しく思う今日この頃です。七つのブロック会(西北、千歳、けやき、きぬた、玉川、キャロット、さくら)が思い思いに出会いを楽しみ、酒を酌み交わし、趣味を堪能できるブロック会、素晴らしい事です、世田谷在住の校友は1万人を超えと言われ、当世田谷稲門会の会員は400名近い人数を擁し、23区内最大の会員数を誇っています。世田谷区は広大で、南北の路線も少なく会員全体が頻繁に会合を開くには意外と不便です。全体の会合は新年会、総会、納涼会と3回しかなく、これでは会員相互の親密な交流がはかれるどころではありませんでした。部会としてはゴルフ、マージャン、カラオケ、食べ歩き、ボウリング、釣り、スポーツ観戦などがあり、夫々好きな人が集まって、楽しんでいたものの趣味の段階に留まり輪が広まらず、今ひとつ物足りなさを感じていました。こんな中で、世田谷をお互いお隣同士の小ブロックに分ければ、もっと頻繁に会合が持てるし、会員同士がより親密に成れると言う発想から、ブロック案が発案されました。担当された柴田昇氏(昭29商)がブロック分けに真剣に取り組んだ結果平成15年に6ブロック(翌年7ブロックに再編)が誕生しました。柴田さんの熱い思いと実行力に感謝です。今や飲み会、講演会、落語興業をやってしまうところ等など、各会自由に会合を楽しみ大いに親睦を深めています。かつて、早稲田に学んだということだけで、大学を卒業した今、こうしてお互いに胸襟を開き楽しい時間を過ごし、人生を豊かにする事が出来る幸せ、正に早稲田万歳！早稲田大学有難う！である。全く利害関係のない、自由なブロック会をどうぞ皆さん大いにエンジョイして欲しいと思います。柴田さん、よかったですね、柴田さんの熱い思いがブロック会の今日の隆盛に繋がりました。今年で世田谷稲門会創立15年、益々充実した会に発展することを願ってブロック会雑感の締めとします。

〔いわがみ けんいち (昭和36年法)〕

世田谷稲門会副会長兼ブロック会統括

世田谷稲門会会則

平成4年1月 制定
平成6年4月 改訂
平成7年10月 1日改訂
平成10年5月 9日改訂
平成12年5月21日改訂
平成14年5月25日改訂

第1章 総 則

- 第1条 本会は世田谷稲門会（以下本会と称す）と称す。
第2条 本会の事務所は、東京都世田谷区内に置く。

第2章 目 的

- 第3条 本会は会員相互の親睦を図り、早稲田大学校友会との連絡を密にして早稲田大学の発展に寄与し、合わせて世田谷区の地域活動に寄与することを目的とする。

第3章 会員の資格

- 第4条 会員は、世田谷区内に居住または勤務先、事務所を有する早稲田大学の校友、在学生及び世田谷区以外に居住し本会に協力いただける校友とし、第16条に定める所定の年会費を納付した者とする。

第4章 役 員

- 第5条 本会に次の役員を置く。
会長1名、副会長若干名、幹事長1名、事務局長1名、常任監査役1名、幹事若干名
第6条 役員職務並びに選出方法は別途定める。
第7条 役員任期は2年（4/1～3/31とし）、再任を妨げない。但し、任期途中で就任した役員任期は、前任者の任期とする。
第8条 本会には名誉会員を置くことができる。

第5章 役員会

- 第9条 本会の役員会は、会長、副会長、幹事長、事務局長、各常任幹事その他一般幹事を以て構成し、必要に応じて会長がこれを招集する。
第10条 役員会は議長に会長があたり、必要な議決事項は、出席役員過半数をもってこれを決する。

第6章 総 会

- 第11条 総会は定時総会と臨時総会の二種とする。
第12条 定時総会は毎年1回開催し、臨時総会は役員会で必要と認めるとき、会長がこれを招集する。
第13条 総会の議長は会長がこれにあたり、会長に事故あるときは副会長がこれにあたる。
第14条 定時総会には、当該年度の収支決算書、事業報告書、収支予算書、事業計画書を掲示、承認を得なければならない。
第15条 総会に必要な議決事項は出席会員の過半数をもってこれを決し、可否同数のときは議長はこれを決する。

第7章 会 計

- 第16条 1. 本会の運営については、会費、広告料、寄付その他の収入をもってこれにあてるものとする。
2. 会費は年間3,000円とし夫婦校友会員の場合は二人で5,000円とする。但し、必要に応じて役員会の決議により臨時会費を徴収することができる。
第17条 本会の事業年度は毎年4月1日より起算し、次年度の3月31日をもって終了する。
第18条 1. 会計委員会は毎年会計年度終了後直ちに決算書を作成して役員会に付議し、監査役の監査を受けなければならない。
2. 監査役は前項の監査結果を当該年度の総会に報告しなければならない。

第8章 組 織

- 第19条 本会の組織は事務局・企画・広報・地区組織・親睦部会とし各事務分掌によって運営する。

第9章 付 則

- 第20条 本規約の改正には総会出席者の過半数の同意を必要とする。

尚、本会は平成4年1月1日に発足しました。

早稲田大学歌集

紺碧の空

住 治男 作詞
古関 裕而 作曲

早稲田の栄光

岩崎 巖 作詞
西条 八十 補作
芥川也寸志 作曲

早稲田大学 校歌

相馬 御風 作詞
東儀 鉄笛 作曲
坪内 逍遙 校閲

一、都の西北 早稲田の森に 聳ゆる叢は われらが母校

われらが日ごろの 抱負を知るや 進取の精神 学の独立

現世を忘れぬ 久遠の理想 かがやく われらが行手を見よや

わせだ わせだ わせだ わせだ わせだ わせだ わせだ

二、東西古今の文化のうしほ 一つに渦巻く 大島国の

大なる使命を 担ひて立てる われらが行手は 窮り知らず

やがても 久遠の理想の影は あまねく天下に輝き布かん

わせだ わせだ わせだ わせだ わせだ わせだ わせだ

三、あれ見よ かしこの常磐の森は 心のふるさと われらが母校

集まり散じて人は変れど 仰ぐは同じき 理想の光

いざ声そろへて 空もとどろに われらが母校の名をばたへん

わせだ わせだ わせだ わせだ わせだ わせだ わせだ

一、紺碧の空 仰ぐ日輪

光輝あまねき 伝統のもと

すぐりし精鋭 闘志は燃えて

理想の王座を

占むる者われら

早稲田 早稲田

覇者 覇者 早稲田

二、青春の時 望む栄光

威力敵無き 精華の誇り

見よこの陣頭 歓喜あふれて

理想の王座を

占むる者われら

早稲田 早稲田

覇者 覇者 早稲田

一、栄光はみどりの風に

花ひらく若き日の歌

重ね来し歴史尊く

承け継ぎて輝く早稲田

早稲田 早稲田 我等の早稲田

二、ふり仰ぐ時計の塔に

青春の眸は澄みて

雲と湧く文化の理想

担い立つ我等たくまし

早稲田 早稲田 我等の早稲田

三、昂然と高張る胸に

伝統の息吹き通いて

翻えず校旗の紅に

感激の血潮は沸る

早稲田 早稲田 我等の早稲田

四、先哲の面影偲ぶ

なつかしき真理の杜を

彩るは七色の虹

とこしえに輝く早稲田

早稲田 早稲田 我等の早稲田

1. 歴代校長・総長・学長

【校長】

大隈英磨	初代	1882(明治15)年～1887(明治20)年	[1910(明治43)年 5月没]
前島密	二代	1887(明治20)年～1890(明治23)年	[1919(大正 8)年 4月没]
鳩山和夫	三代	1890(明治23)年～1907(明治40)年	[1911(明治44)年10月没]

【総長・学長】

大隈重信	初代	1907(明治40)年～1922(大正11)年	[1922(大正11)年 1月没]
高田早苗	(初代学長)	1907(明治40)年～1915(大正 4)年	[1938(昭和13)年12月没]
天野為之	(二代学長)	1915(大正 4)年～1917(大正 6)年	[1938(昭和13)年 3月没]
平沼淑郎	(三代学長)	1918(大正 7)年～1921(大正10)年	[1938(昭和13)年 8月没]
塩澤昌貞	(四代学長)	1921(大正10)年～1923(大正12)年	[1945(昭和20)年 7月没]
塩澤昌貞	二代	1923(大正12)年	[1945(昭和20)年 7月没]
高田早苗	三代	1923(大正12)年～1931(昭和 6)年	[1938(昭和13)年12月没]
田中穂積	四代	1931(昭和 6)年～1944(昭和19)年	[1944(昭和19)年 8月没]
中野登美雄	五代	1944(昭和19)年～1946(昭和21)年	[1948(昭和23)年 5月没]
島田孝一	六代	1946(昭和21)年～1954(昭和29)年	[1987(昭和62)年 3月没]
大濱信泉	七代	1954(昭和29)年～1966(昭和41)年	[1976(昭和51)年 2月没]
阿部賢一	八代	1966(昭和41)年～1968(昭和43)年	[1983(昭和53)年 7月没]
時子山常三郎	九代	1968(昭和43)年～1970(昭和45)年	[1984(昭和59)年 6月没]
村井資長	十代	1970(昭和45)年～1978(昭和53)年	[2006(平成18)年 3月没]
清水司	十一代	1978(昭和53)年～1982(昭和57)年	
西原春夫	十二代	1982(昭和57)年～1990(平成 2)年	
小山宙丸	十三代	1990(平成 2)年～1994(平成 6)年	[2006(平成18)年 9月没]
奥島孝康	十四代	1994(平成 6)年～2002(平成14)年	
白井克彦	十五代(現)	2002(平成14)年～	

【名誉総長】

大隈信常		1923(大正12)年～1947(昭和22)年	[1947(昭和22)年 1月没]
------	--	-------------------------	-------------------

2. 大学院

(1) 学部を基礎とする研究科大学院 (政治学研究科等12研究科)

(2) 独立研究科・専門職大学院

アジア太平洋研究科

国際情報通信研究科

日本語教育研究科

公共経営研究科

情報生産システム研究科

法務研究科(法科大学院)

環境エネルギー研究科

ファイナンス研究科(夜間大学院)

会計研究科(会計専門職大学院)

高度教育専門職研究科

編集後記

ひと口に15年といっても創立より今日に至るまでの道程は多くの苦難といばらの道であり、この間哀歓纏綿、年移り世相は変わり、集まり散じて人は変れども世田谷稲門会は幾多の苦難をのりこえて会員数や活動内容において着々とその充実を図り今日に至っている。そして世田谷稲門会会則にある目的〔(1)会員相互の親睦(2)早稲田大学発展への寄与(3)世田谷区の地域活動への寄与〕に沿った具体的行動が進められてきた。

奇しくも平成19年(2007年)は早稲田大学創立125周年の記念すべき年であり世田谷稲門会も15年の節目を迎えることになった。

この時に当り15年の来し方を振り返ることは単にその歴史を記録として止めておくことのみならず、今後この会をどう発展させていくかのよりよきよすがともなるであろう。

編集に当り15年の歴史の纏め方についていろいろの考え方もあったが予算上の制約もあり、15年の足跡を事実即して史実として記録し、時系列的に沿革をたどり、一方母校や校友会の変遷、世の中の変化等も併せ記述することとしたものである。

また発足当初より会員の交流親睦を深める事に寄与した、文化、芸術、スポーツ等各方面に亘る部会活動では「会費を払って世田谷稲門会に入ってよかった」と実感できる多彩な活動が展開されてきた。然してその成果は今やアクセス数1万をこえるホームページに、また早稲田学報等で全国の校友知己に周知され注目を集めている。是等の経緯をふまえ部会代表世話人の方々にご寄稿をお願いしたところ快諾、ご協力いただいた。

一方ブロック会については設立後日も浅い事等もあって全体の総括を(ブロック会統括)岩上健一氏に寄稿していただいた。併せて御礼申し上げます。

ここに困難な創業を成しとげた先人の労苦を偲ぶと共に、「創業は易く 守成は難し」との諺の意味をかみしめ諸先輩の偉業をうけつぎ発展させていく必要を感じる今日此の頃である。

編集に当っては委員としてご多忙の中、貴重なご意見をいただき、多くの時間を割いてご協力賜り且つ寄稿していただいた柏良子氏、川村保夫氏、土倉享一氏、下条忠雄氏に改めて紙上を借りて御礼申し上げます。

編集委員長 大須賀 肇

世田谷稲門会 15年のあゆみ

編集委員会

委員長 大須賀 肇 (昭26 理工)
委員 柏 良子 (昭31 政経)
委員 川村 保夫 (昭34 商)
委員 土倉 享一 (昭34 政経)
委員 下条 忠雄 (昭34 政経)



(参考文献)

1. 早稲田学報
2. 世田谷稲門会会報
3. 世田谷稲門会 総会等諸資料
4. 寺田勉書簡集
5. 早稲田大学商学部100年史

世田谷稲門会 15年のあゆみ

発行日 平成19年 5月18日
発行 世田谷稲門会
発行人 世田谷稲門会 会長 土倉享一
編集 世田谷稲門会「15年のあゆみ」編集委員会
印刷所 株式会社京一プリント
〒103-0026 中央区日本橋兜町11-4 羽生ビル1F
世田谷区稲門会 〒157-0067
事務局 世田谷区喜多見4-33-25 川村保夫方

(禁無断転載)